



校長式辞

春の柔らかな日差しをあびた校庭の大銀杏が長い眠りから目覚め、ここ梅田の地を歩く足音も心なしかはずんで聞こえる心地よい季節が訪れています。

本日は、公私共にご多用の中、多数のご来賓のご臨席を賜り、保護者の皆様と共に、三課程合同の、平成二十三年度卒業証書授与式を行うことができますことを厚くお礼申し上げます。

ただ今、定時制課程昼間部六十名、定時制課程夜間部五十二名、通信制課程百二十三名、合わせて二百三十五名の皆さんに卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。保護者の皆様におかれましても、さぞかしお喜びのこととお祝い申し上げます。

本校は昭和五十二年、長崎県で初めての定通独立校として創立され、地域に開かれた学校、生涯学習の拠点校としての歩みを確立し、六千名に迫る卒業生を送り出しています。創立以来、柔軟な教育システムの利点を生かし、高校への就学の機会に恵まれなかった人や、様々な事情で他校を退学せざるを得なかった人の学び直しの場としても、大切な役割を果たしてきているのです。

本年度の卒業生の皆さんの中にも、幾多の苦難を乗り越え、栄えある卒業証書を手にされた方がたくさんいらっしゃいます。これまでの努力に改めて敬意を表したいと思います。

夜間部では、結婚・出産を経て四十歳過ぎに本校の門をくぐり、ご自身のお子様より年少の級友と机を並べて勉学に励まれた方や、心ならずも他校を退学して挫折を経験した人、病気や不登校で中学校にはほとんど通うことが出来なかった人もいます。

しかし、ご家族や級友からの支えと、本人のたゆまぬ努力で見事に卒業の栄冠を勝ち取り、後輩諸君に勇気と希望を与えてくれました。

四月に実施された夜間部の歓迎遠足は、初めて経験する勤労と学習の両立への不安を少しでも和らげようとする、先輩からの励ましの学校行事として、これからも新入生の心を支え続けることでしょう。

通信制では、一昨年度と今年度の全国生活体験発表大会において、文部科学省初等中等教育局長賞を受賞した方が二名いらっしゃいます。

「高校へは進学せず、和裁の道を選択した自分を悔やんだことはないけれど、また何か勉強したい」と、三十四年ぶりに生徒として登校し、毎日をワクワクした思いで勉強に励んだ様子を発表した出口久美子さん。

「中卒」というレッテルが今の社会でどれだけ不憫なものかを思い知らされて高校への進学を決意し、「これまで経験したことはこれからの人生の大きな糧となり、武器になる」と力強く決意の言葉を述べた森内明日香さん。お二人の発表は、様々な境遇で通信制に学ぶ人たちをどれだけ勇気づけた

かわかりません。

全日制と変わらぬ学習システムで学ぶ昼間部の皆さんは、学校行事や他校との交流に中心となって活躍してくれました。特に学校行事では、昨年九月に実施された体育大会が強く印象に残っています。

「輝き」「感動」「最高の思い出」を合い言葉に、暑い日差しが降り注ぐ七月からの厳しい練習に耐え抜き、力強い競技と躍動感あふれる演技を披露してくれました。閉会式で校歌を声高らかに歌い上げる一人一人の輝く姿は、見る者を感動させたといっても過言ではなかったのです。

体育大会を通して、「やれば出来る」ということを実証した満足感と自信が最高の思い出として、胸に深く刻まれているのだと思います。

さて、皆さんを待ち受ける社会は多くの課題を抱えています。未曾有の大震災とそれにともなう原発事故で被った被災地の復興に加え、長引く経済不況や少子高齢化に伴う社会保障問題など、前途は決して平坦な道のりだけではありません。これまでの努力以上に、厳しい時代に立ち向かっていくための強い精神力が必要となってくるのです。

昨年十月五日、世界の人々の悲しみに包まれ一人の実業家がこの世を去りました。その人の名はスティーブ・ジョブズ。アップル社の共同設立者であり、アイポッドやiPhoneなどの革新的な製品を次々に世に送り出し、世界の人々のライフスタイルを一変させた人です。

彼は多くの若者の心に響く言葉を遺しています。その一つを紹介して、厳しい時代に立ち向かう皆さんへの餞としたいと思います。

スティーブ・ジョブズは、世界を変えた男と評されましたが、その歩みは決して順風満帆であったわけではありません。何度も会社経営の危機に陥り、挫折を繰り返します。しかし、「仕事の道具ではなく、夢のあるコンピュータを作りたい」という、創業当時の理念を忘れることはありませんでした。

そしてついに、一九九八年「アイマック」を発売して大ヒットさせ、人間とコンピュータの新たな関係を築きあげたのです。

この時に彼は次のように述べています。

「新しいことを始めるときに一番大切なことは、それを成し遂げたいという情熱です。成功と失敗の一番の違いは、途中であきらめるかどうかです。必要なのは情熱です」。

この強い信念の下、襲いかかる危機に立ち向かい、見事に会社を救ったのです。

「新しいことへの情熱と挑戦し続ける強い意志」。スティーブ・ジョブズが次代を担う若者に遺したこの言葉をしっかりと心に留め、待ち受ける荒波に果敢に立ち向かっていくことを期待しています。

いよいよお別れの時がやってまいりました。曹洞宗を開いた道元禪師は、「花紅にして美なりといえども、ひとり咲くにあらず、春風来たりて、初めて咲くなり」と説いています。

春に咲く花々は、多くの天地の恵みがあって初めて咲き誇ることができる。これは人でも同じことであり、多くの人からの支えがあるからこそ、目的を果たすことが出来るのだという意味です。

今日の卒業の喜びは、この日まで陰に陽に皆さんを支えてこられた保護者の皆様をはじめ、多くの方々のおかげであるという感謝の気持ちを忘れてはなりません。

最後になりましたが、お子様に深い愛情を注いでこられました保護者の皆様、本日は誠にありがとうございます。これまでの本校教育へのご理解、ご支援に厚くお礼を申し上げますとともに、卒業生の幸多き歩みを祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成二十四年三月一日

長崎県立佐世保中央高等学校長 ト部 篤志